

令和8年7月31日

各 位

和泉市長 辻 宏康

子ども・子育て支援システム等の再構築に関する情報提供依頼

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本市におきましては、現在、庁内で利用している子ども・子育て支援システム等について、国の標準化に合わせてパッケージシステムを利用し再構築することを検討しております。

このことに関する情報提供をお願いいたします。

なお、ご提供いただきました情報は、具体的な発注仕様の検討及び予算の算に際し、参考情報として活用させていただきたいと考えているものであり、業者選定に影響するものではないことを申し添えます。

1. 提出書類

- ・参加表明書
- ・情報提供書

※金額については予算積算、検証で活用することを目的としておりますため、精度の高い内訳でのご提示をお願いいたします。

※項目数が非常に多く、誠に申し訳ありません。基本は国の仕様書を参考に載せています。

- ・その他参考資料

(※製品の機能一覧をいただけましたら非常に幸いです。)

2. 提出期限

・本 RFI にご回答頂ける場合は、まず E-mail にて参加連絡し、郵送等にて参加表明書のご提出をお願いします。提出後、システム連携等について詳細情報をお送りします。

- ・情報提供書の回答期限は 令和8年9月7日(月)まで

※事務の都合上、ご準備でき次第ご提供いただけましたら幸甚です

3. 情報提供依頼書に関する質問受付

- (1) 情報提供依頼書に関する照会・質問等は原則として E-mail でお願いします。
個別に回答いたします。
- (2) ご希望の場合は面談・お打ち合わせでのご対応も実施させていただきます。

担当：こども未来室 幼保運営担当 丸岡 古下

TEL:0725-99-8137 (直通)

Mail: kodomo-rfi@city.osaka-izumi.lg.jp

子ども・子育て支援システム等再構築の範囲等について

① 本 RFI の目的

現状、本市で使用している子ども・子育て支援システムは富士通 Japan 株式会社による M I S A L I O 子ども子育て支援システムを利用していますが、その期間が 10 年を超過していることからシステムの構築・運用事業者を見直すこととなりました。本市としては、国の標準化に合わせて市の業務についても大幅な見直しが必要と考えており、これを機に市民・行政両者にとって、使い勝手の良い仕組みの構築を目指しているところです。

つきましては、以下に示す条件で、貴社が本市に対して子ども・子育て支援システム等を再構築し、課題を解決していただく場合、どのようなシステムを構築されるのか、情報提供をお願いするものです。

② 調達の範囲

- ・再構築予定システム
- ・利用年数は 10 年間を想定
- ・アプリケーション、アプリケーションを稼働させるために必要なハードウェア、ソフトウェア（ミドルウェアを含む）、周辺機器等を含むものとします。
- ・ガバメントクラウド運用管理補助業務
- ・ガバメントクラウドへの回線構築を含むネットワーク構築
- ・文字同定、データ移行、Fit&Gap を含む、標準化対応業務
- ・システム構築、操作研修等、市職員が業務できる環境構築
- ・子ども・子育て支援業務を遂行するにあたっての、市に対するコンサル業務（運用・データ管理等）

③ 提示にあたって

国の共通機能標準仕様書（第 2.7 版）（全部必須）及び子ども・子育て支援システム標準仕様書（第 2.0 版）標準仕様書の必須要件を満たすシステムについて、パッケージ費用、標準オプション機能及び A I 入所選考への対応状況をご回答願います。

なお、標準オプション機能及び A I 入所選考への対応状況については、パッケージで対応可能であるのか、関連システム等の構築が必要なのか或いは代替案で回避できるのか（同じ効果が得られるか）、関連システム等の構築が必要な場合は費用がどれほどになるのか（概算で結構です）、追加ライセンス等が必要なのか、についてご回答をお願いいたします。

1. 再構築予定システム

- ・子ども・子育て支援システム
- ・A I 入所選考システム（子ども・子育て支援システムと別システムも可）

2. 現状の課題

- ・ぴったりサービスによるオンライン申請データを直接システムに取り込むことができず、手動入力で対応している。
- ・OCR により読み込んだ申請データを直接システムに取り込むことができず、手動入力や RPA で対応している。
- ・保育料・主食費・副食費等の納付書が eL-QR に対応していない。
- ・延長保育料についてはシステム外で対応しており、口座振替等ができていない。
- ・雇用終了日が認定期間中に設定されている就労証明書等、認定期間中に根拠書類の効力が切れてしまう認定、育児休業から就労復帰前提の入園後の復帰後就労証明書提出等の追加で根拠書類提出が必要な認定を管理する機能がなく、保護者への書類提出依頼が煩雑。
- ・システムの動作が重く、また、画面遷移が多く、操作に時間がかかる。

3. 現行システム

富士通 Japan 株式会社の M I S A L I O 子ども子育て支援システム ver. V1L18
（標準化前）

4. システム連携

※庁内現行システム及びデータ連携の情報については、機密情報が含まれるため、参加表明書提出後に情報提供します。

5. ネットワーク環境

庁内ネットワークは、総務省の提示する α モデルである個人番号利用事務系ネットワーク、LGWAN 接続系ネットワーク、インターネット接続系ネットワークで運用。

※詳細については、参加表明書提出後に情報提供いたします。

6. 運用支援

- ・システム再構築後の運用支援を行うこと
- ・各種法改正等に迅速且つ適切に対応すること（基本追加費用無く）
- ・システム切り替え時の混乱時期（2～4 ヶ月ほどを想定）は市役所にオペレータを常駐させる等、システム切り替え時も問題なく業務が継続できる態勢を整えること
- ・システム構築時及び運用時において、市民目線・市役所目線から最適な業務運用の助言などが行えること

7. 必須機能・条件等

- ・国の標準仕様に対応していること（標準仕様の必須機能の改訂に無償で対応すること）

- ・職員数 2,000 人規模の自治体で使用可能なこと（システム使用職員数 20 人程度）
- ・人口規模約 18 万人の自治体（市）で使用可能なこと
- ・Windows11 以降の OS で使用できること
- ・子ども・子育て支援システムについては、デジタル基盤改革支援補助金（地方公共団体情報システムの標準化・共通化に係る事業）に対応したクラウドを活用した提案とすること（セキュリティを確保すること）
- ・個人情報を取り扱うシステムであるため、操作者・日時・操作内容・操作対象者・操作端末等のログが 1 年以上適切に保管でき、且つ複数の柔軟な検索条件による検索ができ、また CSV 等で出力可能であること
- ・各種法令に則った運用が可能であること
- ・現行の子ども・子育て支援システムからのデータ移行を正しく実施できること
- ・利用端末については、極力特別な設定やソフトのインストールが不要であること
- ・各種帳票出力については、プリンタ側に極力設定等せずとも出力可能であり、機種の種類無く出力可能であること
- ・今後の電子申請の普及にも柔軟に対応できること
- ・現在は Unicode UTF-32 を利用しているが、これを適切に文字同定・変換作業を実施し、標準化指定の文字環境で利用できるようにすること
- ・web システムの場合は、Microsoft Edge に対応していること
- ・自治体職員も市民にとっても使い勝手の良い便利なものであること。
- ・自治体職員が利用する端末については和泉市で準備する。
- ・再委託による提案も可とするが、その場合はその旨を明記すること。

参考

和泉市の状況

- ・人口（外国人登録者を含む）：180,955 人
 - ・世帯数：83,803 世帯
 - ・就学前人口：5,126 人
 - ・保育所数及び定員

：公立	6 園	750 人
：私立	3 園	170 人
 - ・認定こども園数及び定員

：公立	1 園	149 人
：私立	25 園	3,232 人
 - ・幼稚園数及び定員

：公立	1 園	105 人
：私立	2 園	115 人
 - ・小規模保育園：私立 1 園 19 人
- （令和 8 年 3 月末日時点、保育所及び認定こども園、幼稚園に関しては令和 8 年 4 月 1 日時点）

○標準化について

国の必須標準仕様を満たし、各業務が何の問題もなく適切且つ効率的に行えること。

○A I 入所選考システムについて

標準化後の子ども・子育て支援システムと連携可能なシステムであること。

○データ移行について

現行システムに登録している情報を標準化後のシステムに移行すること。

※現行システムからの移行データ情報については、機密情報が含まれるため、参加表明書提出後にファイル情報及びファイルレイアウト情報を提供します。

8. 回答方法

「情報提供書.xlsx」の各シートに入力のうえ、メールにてご提出願います。

○機能要件・帳票要件について

6 ページの記入例を参考に記載要件ごとに対応可否等をご回答願います。

一部対応可能な場合は、その一部対応内容についてもご回答願います。

本市が導入を検討している要件については、カスタム対応等についてもご回答願います。

○費用について

予算の積算資料として活用させていただきますので、可能な限り詳細な金額のご記入をお願いいたします。

※本回答によって提示された費用をもって、次回予定の入札等の際に何らかの不利益を被ることはございません

※各見積書をご提出いただけますと非常に幸いです。

○構築期間等について

貴社システムを構築する場合の貴社の予定をご教示願います。

（標準化システムの事業者決定は令和9年度を予定、システム構築は事業者決定後から令和10年度末までに完了を予定）

※当初入所業務（10月、1・2月）、年度切替業務（3月～5月）の繁忙期を考慮したスケジュール表等をご提出いただけますと幸いです。（任意様式）

- ・プロポーザル参加可能時期
- ・プロポーザルの公募開始から提案に要する期間
- ・システム構築期間
- ・新システム稼働開始可能時期
- ・構築開始から新システム稼働までに要する期間

9. その他

- ・本RFIに求められていない事項についても、システム再構築にあたり、採用すべき提案等がありましたら、追加で提案いただけますと幸いです。

※要件対応 記入例

本市が導入を検討している要件（◎表記）については、カスタム対応可否及びカスタム対応費用についてもご回答ください。以下、本市が導入を検討している要件（◎表記）の場合の記入例

詳細	パッケージ対応可能か	一部対応可能な場合、どこまで対応可能か	パッケージ対応不可の場合、カスタム対応可能か	カスタムで対応可能な場合、カスタム費用はいくらか（円）	備考
甲の要件	対応可能（右の項目は回答不要）	回答不要	回答不要	回答不要	
乙の要件	一部対応可能	〇〇までは対応できないが、●●までは対応可能 等	対応不可	回答不要	「乙」は出来ないが、「丙」という機能を活用すれば「乙」と似た結果を得ることが可能
丁の要件	一部対応可能	「乙」は出来ないが、「丙」という機能を活用すれば「乙」と似た結果を得ることが可能 〇〇までは対応できないが、●●までは対応可能 等	対応可能	構築 400,000 円	関連システム構築費用
戊の要件	対応不可	回答不要	対応可能	構築 200,000 円 保守 2,000 円／年	再委託 ※記入必須
庚の要件	対応不可	回答不要	対応不可	回答不要	導入の方向で検討中